

# 2013富士山周遊ドライブ10「第2話」

□第2日目(11/5 火) 東京スカイツリーへ

夜中の二時少し前に目が覚めてからは、今日のスケジュールが気になり始めてウトウト続き...四時半頃には起き出してしまった。そこで、昨日の日誌をパソコンに打ち込み、シャワーを浴びる。東京は夜明けが早い...外に出てみると、お天気は嬉しい快晴です。

キラキラと朝日が輝いていて、気温はひんやりとしていて爽やか。

早朝からすでに多くの人たちが、忙しそうに行き交っています。



七時からの

ホテル朝食は、ヴィッフェスタイル。

料理の品数は、幾らか少な目だが不足はありません。レストランのガラス越しに見える洋風な中庭が、都会的な朝を演出しているかのように感じたものです。



旅に出ると

何時も、朝ご飯はしっかりおかわりして美味しく戴きます。

□今日は、九時に予約を入れている「東京スカイツリー」の観光です。

初めて訪れるところなので、時間に余裕を持って出掛けたものでした。ホテルから品川駅までは、緩やかな下り坂が続いています。通学路にもなっているのか、駅の方から登って来る通勤のサラリーマンに混じり、多くの女子高生たちとすれ違います。

品川駅は、人 人 人の大河が凄いい勢いで流れています。ホームもまた、それらの通勤客たちで溢れています。...そうした都会の喧騒中に身をおいていると、若い頃に、丸の内の本社で、数ヶ月の新入社員研修を受けたことを思い出していました。

私たちは京急 都営浅草線で、品川駅から8:18・押上駅に向かいます。

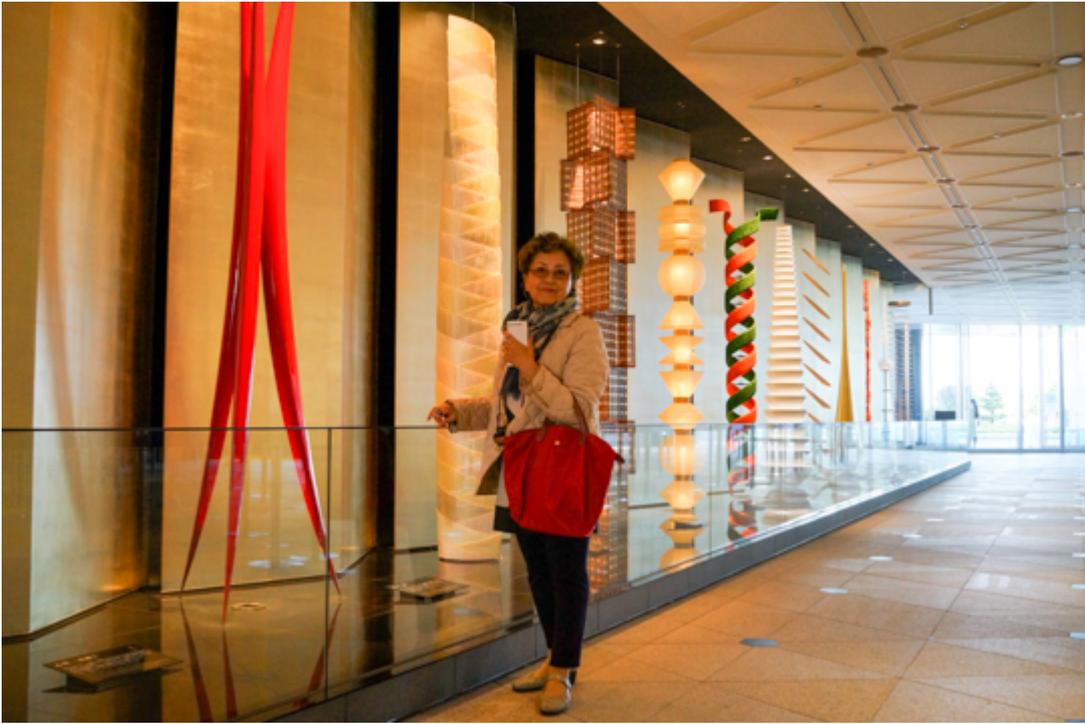
この電車だと乗り換えなしで行けます。その車内は、浅草が近づくにつれ、さっきまでの物凄いラッシュが嘘のようにならなくなった。



□東京スカイツリーの高さは634メートル...世界一の高さですね。

展望デッキへの予約は、Webチケットで事前に予約をしていたのです。  
チケットは、9時からの入場となっていて、それ迄にはもう少し時間があります。  
なので「ソラマチひろば」をゆっくりと観ながら、4階の「東京スカイツリー天望  
デッキチケットカウンター」へと向かいます。





今日は火曜

日 だから、大した混雑はない筈だと決め込んでいたのです...ところがびっくり !!  
....こんなに早い時間から物凄い人が行列をなしています。

事前予約をしていた私たちは、専用のカウンターで引換券を受け取り、列に並ぶ  
必要なく天望シャトル・エレベーター前に進むことが出来ました。



□展望台へは、

高速のエレベーター「天望シャトル」に乗り込みます。

40人乗りのエレベーターは、一分間に600メートルの超高速。なので、地上350メートルの「天望デッキ」までは僅か50秒で到着です。このエレベーターが4基あったと思います。

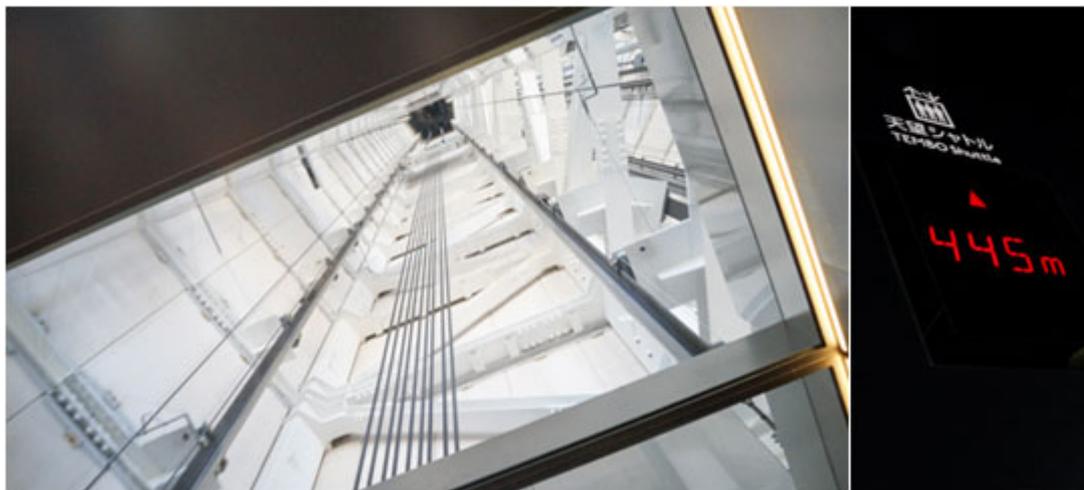
「天望デッキフロアー350」から、さらに上の「天望回廊450」までは、約30秒で結ぶ天望シャトル「高速エレベーター」に乗る必要があります。

その「天望回廊」へ昇るためのチケット売り場に、物凄い大行列が出来ていました。

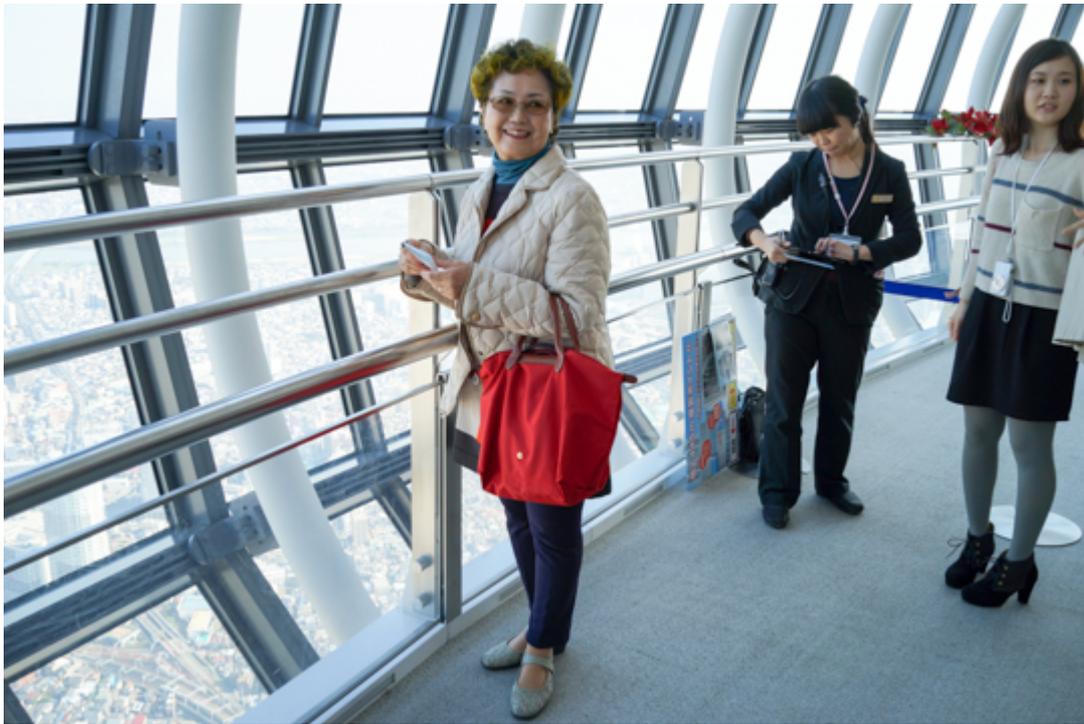




何時の間にか私たちも、その行列の中にいましたね。



こうしてやっと、天望シャトルに乗り込み、**最高の天望フロアー450メートル**に到着です。



タワーをぐるりと取り囲む「天望回廊」の出発地点でエレベーターを降ります。  
するとそこでプロが、観光客の記念撮影をしていました。



回廊の高低差を活用した面白い記念写真を撮っています。1枚1,200円...私たちには少し高いかなと思ったが、記念に撮って貰うことにしたんです。「下の写真です」





この天望回

**廊は、タワーをぐるりと110m 続くガラス張りです。**

ここを歩いていると、まるで空中散歩している気分です。



ここを訪れている人の数がもの凄いです。 **この回廊には900人が収容出来ると言うのですから、恐ろしいです。** 家内が立っているところは、**光と音を駆使した「ソラカラポイント」という不思議な空間です。**



□冬の晴れた日

の朝には、雪化粧をした富士山が見えるそうですが、残念ながら、今日は見えませ



んでした。



天望回廊をひと回りして十分に楽しんだ後、天望シャトルで350mの天望デッキフロアーに降ります。そこに「**スカイツリー・カフェ**」がありました。

ずうっと立ちずくめだったので、お茶でもしながら一休みがしたいと思ったら、ここは**スタンディング・カフェ**でした。





☐天望デッキの

フロアは、フロア350と345☐340の3フロアがあります。

これらの間には、エスカレーターと階段で自由に行き来が出来るようになってい



ます。



フロア340

には、「**ガラス床**」があって、地上を覗くことができます。

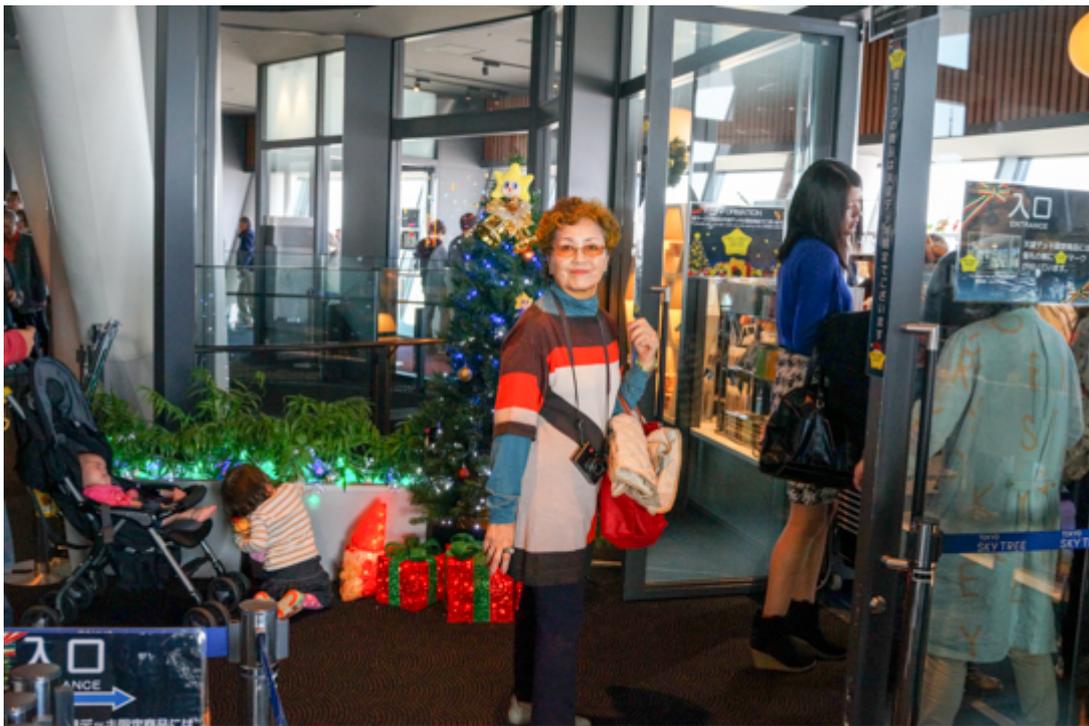
耐熱強化ガラスとは知らされていても、あまり気持ちの良いものではありません。



ん。

このフロアーには「スカイツリー・ショップ」もありました。このショップでしか買えないアイテムもあるとの宣伝に誘われて、孫への土産を求めたものです。

このフ





展望台の観光をして

2時間ほど、  
5階の出口に降りました。



上の写真

は、5階の広いスペースの土産品コーナーです。

次に「ソラマチ」の7階に入り、昼食をとろうとレストランを探しました。

約 80店もあると言われているソラマチの飲食店の中から、私たちの目にキラリと光ったレストランは、「江戸味楽茶屋 そらまち亭」です。



ここは、**高座の寄席演芸を、生で楽しめる**、創作和食のレストランだそうです。提灯や瓦屋根に、江戸時代の下町情緒が感じられ、タイムスリップした気分が味わえます。





上の写真

は、総檜作りの「高座」です。





下の写真は

「江戸味楽茶屋 そらまち亭」からの眺望です。



ちょいちょ

いこの街を訪れる訳にもゆかないので、今日は終日、この街を観てやろうと出掛けてきたのです。なので、昼食後は「ソラマチ」の隅々まで歩き回ったものです。









「イーストヤード」

「イーストヤード」の30階・31階には、上質で本物志向のレストランが揃っています。地上150メートルほどから見渡す景色も素晴らしいです。ここから展望する夜景は、想像を越える美しさだろうな～と感じましたね。



このイーストヤードの31階には、全席からタワーが望めるという人気のカフェラウンジがあり

ました。「天空ラウンジTOP of TREE」です。

行列が絶えない人気店だそうです。私たちは入り口から覗いただけ。この店の人気の一つに「3段に連なり前菜がのるスカイツリーフォールのアミューズタワー」は、ランチ・ディナーともに楽しめるそうです。「下の写真」



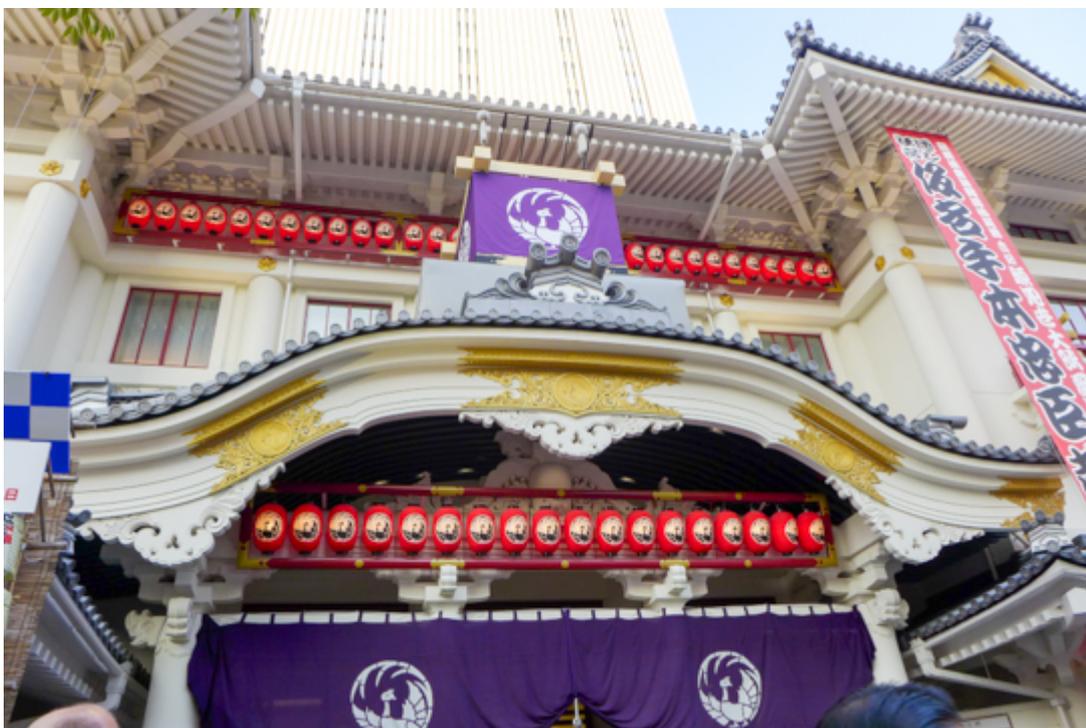
次にここを

訪れることがあったら、景色を楽しみながら贅沢なごはんをしたいものです。

ソラマチで買い求めたお土産が、重たくなってきました。まだ陽は高い...下げて回るのも大変だと思って....ソラマチの一階にある「佐川急便」から、買った土産を我が家に発送依頼したんです。



こうして手荷物を軽くしてソラマチを後に、押上駅から京急地下鉄で「東銀座」に立寄りました。この地下鉄東銀座駅と直結しているのが、荘厳な新しい装いの「歌舞伎座」です。 2013年の4月にオープンしたそうですね。





この歌舞伎

座の前の舗道は、観劇客以外にも、多くの観光客で賑わっています。

一般の通行人にも影響を及ぼしていて、「舗道を塞がないで下さい !!」と、係員が大声で誘導しています。



歌舞伎座の地階には、歌舞伎関連のみやげ品店のフロアとなっていて、ここも沢山の人で賑わっ



ていました。



こうして暫

く歌舞伎座の表玄関を観たのち・東銀座駅から品川駅へと帰ります。  
五時少し前に品川駅に戻ったのでした。

□開店するのを少し待って入ったレストランは「**ダイニング・キッチン&バー・響**」  
**です。** 品川駅高輪口の正面の坂道を少し登ったところにあります。



ここで夕食

をとることにしたんです。



出てくる料

理はどれも美味い...蕎麦はさすがに東京だなと思ったものです。



この店内は奥が広いようで、次々にサラリーマンの団体客が入店して来ています。



若い頃 この東京で、新入社員教育を受けた数ヶ月のことを思い出しながら、ディナーは会話が長くなりお酒が進みました。何と・二時間半ほどの食事となっていました。



満足な夕餉を終わり、緩やかな上り坂をゆっくり歩いてホテルに戻りました。昨日に引き続き今日も良く歩きました...背筋をシャンと伸ばして歩くのが辛くなるほどになっていまして、腰や両足の筋肉に強いこりが出ていましたね。夜 八時少し過ぎ、やっとの思いでホテルに帰りました。

「昨日と同じで、充電が必要な物のセットと、歯磨きだけを済ませてボタンQ」  
「今晚の宿泊も昨日と同じで「高輪東武ホテル」です。

「明日からは、いよいよこの東京から箱根へ向けてのドライブが始まります。  
その為には、しっかりと睡眠をとっておきたい...そう思って眠りました。

「ご覧いただきましてありがとうございました。

...ではまた次回にお会いしましょう。